

令和6年度 福山港箕島地区岸壁 (-12m) 築造工事 (その6・その7)

その6工事 監理技術者
(五洋建設株式会社) 福本 臣起



その7工事 現場代理人
(五洋建設株式会社) 三井 聡



1. 工事概要

本工事は、福山港箕島地区の護岸前面に鋼管矢板式岸壁（延長 280m）築造のうち、本体工（鋼管矢板・杭頭処理工・控工）および裏込・裏埋工を施工するものです。

2. 工事の特徴

(1) 潮間作業

施工場所である福山港は広島県東部に位置します。瀬戸内海の潮汐は日本有数の潮差（満潮－干潮）が大きい海域です。本工事の杭頭処理工（支保組立組外・鋼管矢板切断・吊ボルト、内蓋設置・中詰コンクリート打設）、控工（腹起設置・タイ材取付）および裏込・裏埋工



工事着手前



工事完成

が、作業時間に制限がある潮間作業でした。

そこで作業の効率化を図るために、鋼管矢板切断にはエアプラズマ切断機を導入し、中詰コンクリート打設にはユニフロート及び大型コンクリートバケットを使用しました。また作業範囲に限りがある中で、可能な限りその6工事とその7工事の同

時併行作業の実施等を行いました。

(2) 供用する岸壁との近接作業

本工事の海上作業区域は箕島3号岸壁に隣接しています。

岸壁利用者や船舶代理店への事前説明を実施し、また箕島3号岸壁に接近する作業及び箕島3号岸壁を使用する場合は都度連絡・調整を行い、供用中の岸壁に係る荷役船舶の支障



鋼管矢板切断



中詰コンクリート打設



控工 タイ材取付

とならないよう慎重に施工を実施しました。

福山港分岐航路を航行する一般船舶の安全確保のため、工事区域に作業船が入出域する際には安全管理室と安全監視船2隻（内1隻は国際

VHF無線搭載）と随時連絡調整を行い、さらに安全管理室より、箕島3号岸壁から入出港する船舶の情報を入手することで、一般船舶の動向を把握し船舶接触災害を防ぎました。

3. おわりに

現在（R7年3月中）、工事は完成を迎えました。

海上作業であるため、日の出から日没の中では作業時間が確保出来ない日もありました。また休日確保評価型工事であり、4週8休を達成するために、計画段階から、潮位を考慮した潮間工程の作成や振休を取得しながらの土日祝日の工程調整、さらに十分な作業員の確保のための調整を行い、協力業者・関係各所の協力のもと、無事故無災害での工事完成と4週8休を達成することが出来ました。

最後に、それぞれの力を最大限に発揮し奮闘した事務所職員、協力会社職員をはじめ当工事に携わっていただいた支店職員や発注者および関係者の皆様に心より感謝申し上げます。



杭頭処理・裏込投入：同時併行作業



箕島3号岸壁近傍での作業

●令和6年度 福山港箕島地区岸壁 (-12m) 築造工事 (その6・その7) —

五洋建設株式会社

中国支店／広島市中区上八丁堀 4-1
アーバンビューグランドタワー 7F

☎ 082-511-7900